

ミャンマーのお母さんに安心・安全な出産を！

携帯型の胎児モニター（プチ CTG）を導入

国際協力機構（JICA）は9月18日、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業 案件化調査（中小企業支援型）」においてメロディー・インターナショナル株式会社（香川県高松市、尾形優子 CEO）が提案する「ミャンマー国胎児心拍モニターによる妊産婦医療サービス向上・新生児死亡率低減のための案件化調査」を採択しました。

本調査の対象国であるミャンマーの保健・医療分野における、母子保健サービスの向上は改善がみられるものの、妊産婦死亡率や乳幼児死亡率は依然として高い水準となっています。

提案企業であるメロディー・インターナショナル株式会社は、2015年に設立された香川大学発ベンチャーであり、開発途上国や離島・僻地など医師不足が課題となっている地域で暮らす妊産婦向けの携帯型の胎児モニターを提供する唯一の国内企業です。



胎児心拍モニター（プチ CTG）



胎児心拍モニター（プチ CTG）活用の様子

本調査では同社の提案製品である胎児心拍モニター（プチ CTG）の同国での ODA への活用可能性を調査するとともに、ビジネス展開について検討するための調査です。提案製品が普及することにより、妊産婦医療サービス向上・新生児死亡率低減への貢献を目指します。

本事業は、「案件化調査（中小企業支援型）」として実施されます。「案件化調査」は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたものです。2012年度から実施されており、2020年度第一回分は本年6月に公示を行い、25件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：（プレスリリース） 案件化調査 2020 年度第一回公示の採択結果について

URL：https://www.jica.go.jp/press/2020/20200924_10.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 四国 業務課 埴田、湯本

TEL 087-821-8834 e-mail：Tada.Atsushi2@jica.go.jp

Yumoto.Misako@jica.go.jp